

# 気候変動対策推進プロジェクトニュース

～T-CAP NEWS～ ●発行日：2022年7月/NO.2

## 参議院選挙立候補者に聞きました

7月10日に行われる参議院選挙立候補者14名の方にT-CAP事務局より6月22日に「気候変動」対策についての公開質問状を送りました。私たちの未来を託す候補者を選びましょう。

## 参院選2022×気候変動



みんな投票するニャ!

### 1.気候変動に対応するあなたの政策は

政策内容(複数回答可)	自民党	立憲	公明	維新	共産党	れいわ	社民党	幸福実現	ファースト
①原発積極的再稼働								○	
②原発新設を認めない					○	○	○		
③石炭火力発電の積極的活用	無回答	無回答	無回答	無回答				○	無回答
④再生エネルギー活用の送電網の整備	無回答	無回答	無回答	無回答	○	○	○		無回答
⑤自然エネルギー普及のための独自の政策	無回答	無回答	無回答	無回答	○	○	○		無回答
⑥企業の温室効果ガス削減設定目標の義務化					○	○	○		
⑦カーボンフットプリント記載義務化					○	○	○		
⑧炭素税の導入					○	○	○		
⑨食に関連した温室効果ガス排出削減					○	○	○		
⑩CO2を排出しない移動が完結する都市設計					○	○	○		
⑪集合住宅の熱効率改善					○	○	○		
⑫団地の供給電源を自然エネルギーへ転換					○	○	○		
⑬公共コンポストの設置					○	○	○		

※連絡先が分かる方のみにお送りしています。諸派の方にも送っています。無回答でした。

## 2. 2030年までに大気中への温室効果ガス排出は、最低何%削減すべきか（2013年度比）

(①-46% ②-50% ③-62%)

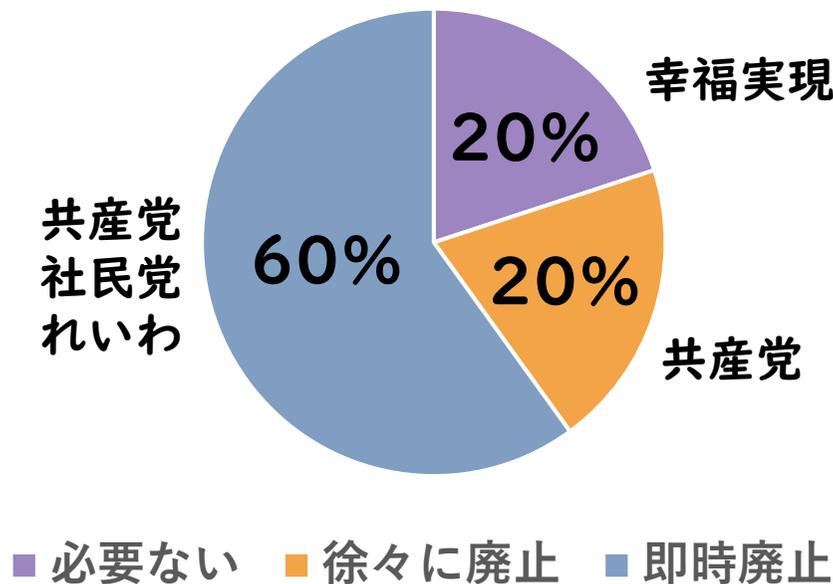
日本共産党	-62%
社会民主党	-62%
れいわ新選組	-50%以上
幸福実現党	無回答



### 〈設定数値について〉

- ①現在の政府が、-46%を削減目標に設定している
- ②世界では-50%削減を訴えており、菅元首相が設定した数値
- ③「パリ協定」の目標達成のために日本に求められている削減幅として指摘した数値。

## 3. 原発や石炭火力発電の廃止は



※日本共産党は、2項目にご回答いただきました。

〈T-CAP事務局より〉



各政党の公開質問状の返答を見て、選挙公示後の忙しい時期に返答してくださった共産党・れいわ・社民党からは積極的に「気候変動」について取り組んでいきたいという強い意志表示を感じました。反対に幸福実現は、原発や火力電力の活用を政策として進めていく立場でした。また、返答いただけなかった候補者の気候変動に対する政策はわかりませんでした。しかし、取り組むべき問題の優先順位はあまり高くないように感じました。

「気候変動」だけではなく、他の社会問題に対して、公開質問を送り発信しているサイトなどがあります。どの政党がどのような政策を考えているのか吟味し、「一人一票」与えられている権利を行使しましょう。

「みなさん、選挙へ行きましょう」



若者よ立ち上がれ!  
高齢者よ立ち上がれ!



東京ほくと医療生協  
【お問い合わせ先】

プロジェクト事務局  
組織部

下川・石川  
☎ 03-3913-9100